



<ニュースリリース>

2014年5月14日
米国研究製薬工業協会

米国のバイオ医薬品研究企業、 合わせて100種類以上の精神障害と物質依存性障害の治療薬を開発中

※当資料は、米国研究製薬工業協会米国本部が、現地時間2014年5月5日に発表した報道資料の抄訳を日本でまとめたものです。

ワシントンD.C.、2014年5月5日：米国研究製薬工業協会(PhRMA: Pharmaceutical Research and Manufacturers of America)のメンタルヘルスに関する最新報告書(タイトル: "Medicines in Development for Mental Health"・・・2014 Report)によれば、米国のバイオ医薬品研究企業は、米国で推定6,150万人とされる精神障害の患者さんの生活を改善するため、現在119種類の新薬を開発中です。

※最新報告書の詳細(英文のみ)は、以下のURLをご参照ください。

<http://www.phrma.org/sites/default/files/pdf/2014-mental-health-report.pdf>

これら開発過程にある医薬品の内訳は、36種が統合失調症治療薬、29種がうつ病治療薬、20種が物質依存性障害治療薬、15種が注意欠陥・多動性障害治療薬、15種が不安神経症治療薬で、すべてが臨床試験中または米食品医薬品局(FDA)による審査中です。

米国では、国民の精神衛生に関わる疾病の現状が、雇用や経済的な側面において、深刻な問題となっています。米国国立精神衛生研究所(NIMH)によれば、成人の4人に1人が精神障害の診断を受けていますが、中でも重篤な症状にある患者は、収入を得ることができないため、国からの補助を受けています。このことにより、国は、医療制度に係る諸経費、障害者への給付金等、年に3,170億ドル以上の負担を強いられています。

PhRMAのジョン・J・カステラニ(John J. Castellani)理事長兼CEOは次のように語ります。

「脳に関する新たな知見が今もなお次々と明らかにされている現況において、バイオ医薬品開発に携わる科学者たちは、うつ病や統合失調症、その他の多くの障害に直面している患者さんを支援すべく、画期的な治療法の発見に努めています。現在、100種類以上の医薬品が開発過程にあります。これらは患者さん、米国の医療制度、そして経済に計り知れない希望を与えてくれるものです」

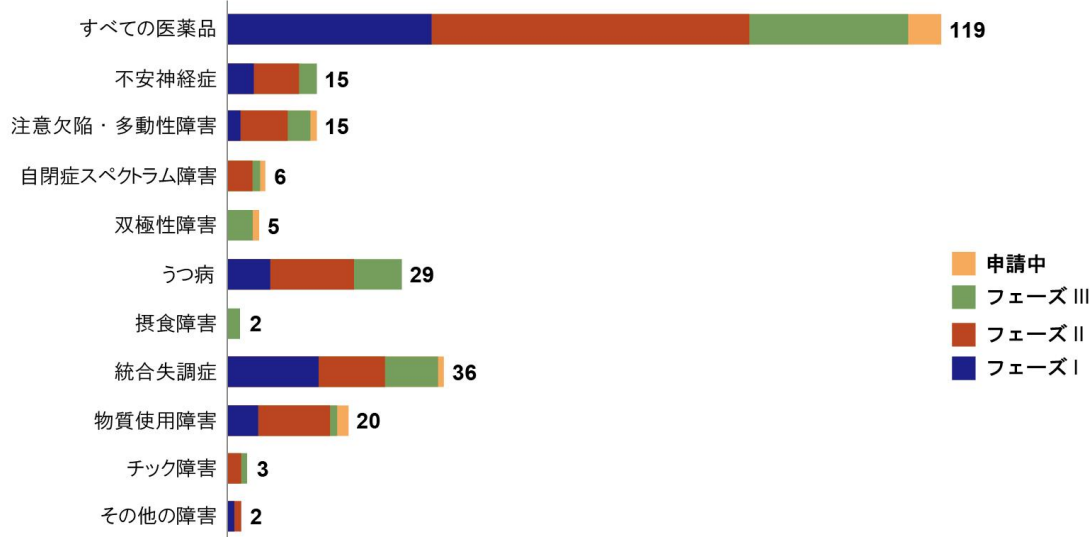
バイオ医薬品研究企業は、学界、公的研究機関、患者団体、さらにはイノベーション・エコシステムの組織との協力により、新しく科学的なアプローチを適用し、疾病知識を進展させることで、不安神経症、うつ病、統合失調症あるいは物質使用障害のような精神障害に苦しんでいる患者さんに、新たな解決策を提供しています。

最新報告書では、これら精神障害の多くに対する治療法の確立における様々な革新的アプローチを紹介していますが、以下はその数例です：

- 注意欠陥・多動性障害(ADHD)に対する、より広い薬効範囲を提供できる可能性のある医薬品の開発。
- 治療抵抗性のあるうつ病に対する、即効性の治療効果が望める経鼻投与製剤の開発。
- 統合失調症に対する、既存の治療法に比べて副作用がより少ない医薬品の開発。

疾病とフェーズで見る開発中の医薬品

複数のカテゴリーにまたがる医薬品もあります。



最新報告書では、開発パイプラインにあるいくつかの医薬品の情報に加えて、精神障害の治療法の研究開発に特有の課題、科学の発展を推進する研究パートナーシップの協力体制、精神衛生状態に対する私たちの理解を深めてくれる科学的な早期発見の意義、精神障害医薬品に関する服薬アドヒアランスの重要性、さらに米国における精神衛生の包括的な実情に至るまで、深く掘り下げた調査を行っています。

● 米国研究製薬工業協会 (PhRMA)

PhRMA は、米国で事業を行なっている主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する投資額は、2000 年からの累計では 5,500 億ドル以上に達し、2013 年単独でも推定で 511 億ドルになりました。

● 米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 東京オフィス

PhRMA 東京オフィスは、米国の研究開発志向型製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて 25 年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社、アッヴィ合同会社、MSD 株式会社、セルジーン株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社 (五十音順) の 10 社です。

- PhRMA 東京オフィスホームページ <http://www.phrma-jp.org>
- PhRMA ホームページ <http://www.phrma.org>

【本件に関するお問い合わせ】

米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 広報事務局
(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL: 03-3291-0118

FAX: 03-3291-0223

E-mail: phrma_pr@jc-inc.co.jp

担当: 村田/青木/齋木

〒101-0065 東京都千代田区西神田1-3-6 ウエタケビル4F